

## 水の事故防止のお願い

子どもたちは夏休みを迎えました。プールや海水浴場がにぎわう季節です。そこで注意したいのが水の事故です。一瞬の油断が重大な事故につながります。普段以上に気配り、目配りをして悲惨な水難事故から子どもたちを守りましょう。

### 《水難事故を防止するために》

#### 1. 子どもを自分の視界から離さないで！

事故は、保護者がちょっと目を離した隙に多く発生しています。目を離さず、子どもだけでの水遊びを禁止しましょう。

#### 2. 通学路や自宅周辺の安全確認を！

川、堰、ため池等、危険な場所を把握し、危険と思われる場所を通る時には、注意するよう日頃から教えておきましょう。

#### 3. なぜ危険なのか、理由を教える！

危険な場所で遊んでいる子どもを見た時は、危険な理由を教えて、安全な場所で遊ばせましょう。

#### 4. プールや海では…

悪ふざけは、やがてエスカレートして取り返しのつかない事故を招くこともあります。浮き輪を使っているからと安心せずに注意深く監視し、適宜休憩を取らせましょう。



## 若草幼稚園消防クラブ紹介



若草幼稚園幼年消防クラブは、子どもが小さい頃から火に対する正しい意識を身に付け、家庭からの火災の減少を図るとともに、将来において火災予防に関する基礎を養育することを目的として、昭和59年8月に常陸大宮市管内（旧大宮町）で初めての幼年消防クラブとして発足しました。

クラブ員は3～5歳の幼稚園児全員で、学期ごとに避難訓練や消防署見学、保護者参加の防火もちつき大会などの開催、防火教材を活用し日頃の防火意識の育成などに努めています。

また、春秋の全国火災予防運動期間中に防火法被を着ての登降園や各種イベント時に鼓笛演奏などで社会貢献活動も積極的に行っています。

### ～幼年消防クラブ員のちかい～

- 1 私たちは、ぜったいに火あそびはしません。
- 2 お父さん、お母さん、先生方のおしえをまもります。
- 3 れいぎ正しい、元気なよい子になります。

